



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月31日

上場取引所 東名

上場会社名 ユタカフーズ株式会社

コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 淳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 牧 清忠

TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,288	4.8	247	△9.7	291	△8.4	198	△15.6
29年3月期第1四半期	5,044	△2.8	274	△16.0	318	△12.7	235	△4.3

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第1四半期	28.60		—	
29年3月期第1四半期	33.89		—	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
30年3月期第1四半期	21,434		18,431	86.0	2,652.61			
29年3月期	21,443		18,195	84.9	2,618.51			

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 18,431百万円 29年3月期 18,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	
30年3月期	—					
30年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	10,590	5.9	570	3.4	630	4.4	440	3.1	63.32	
通期	22,000	7.6	1,200	19.1	1,300	15.7	900	25.6	129.52	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	8,832,311 株	29年3月期	8,832,311 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	1,883,705 株	29年3月期	1,883,645 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	6,948,638 株	29年3月期1Q	6,948,794 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府及び日本銀行による各種政策の効果等によりアベノミクス景気が戦後3番目の長さを記録するなど緩やかな回復が続いており、企業業績・雇用環境は改善の傾向が見られるものの、社会保障費負担の増加等に伴う家計の負担増により景気回復の実感なき経済成長となっております。また、米国新政権の政策実行力への懸念や英国のEU離脱問題の再燃や世界各地の地政学的リスクの増大等により世界経済に与える不安心理が増大し、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第1四半期累計期間の売上高は5,288百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は247百万円（前年同期比9.7%減）、経常利益は291百万円（前年同期比8.4%減）、四半期純利益は198百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、業務用調味液の売上が増加し、売上高は1,070百万円（前年同期比13.0%増）と伸び、セグメント利益は143百万円（前年同期比51.6%増）となりました。

粉粒体食品部門は、粉末スープの受託が伸び悩み、売上高は1,121百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益は18百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

チルド食品部門は、昨年12月末にて製造を終了したゆで麺の影響により、売上高は769百万円（前年同期比7.4%減）、セグメント利益は経費節減に努め103百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

即席麺部門は、3月にラインを増設したことにより、売上高は1,877百万円（前年同期比11.9%増）となりましたが、新ラインの増設に伴う償却費及び諸経費の増加により、セグメント損失（営業損失）29百万円（前年同期は65百万円のセグメント利益）となりました。

その他は、水産物の取扱量が若干減少し、売上高は449百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は9百万円（前年同期比34.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期会計期間末における資産の部は21,434百万円となり、前事業年度末と比べ9百万円減少しました。これは主に、固定資産において機械及び装置（純額）が341百万円、投資有価証券が253百万円増加し、流動資産において現金及び預金が718百万円減少したことによるものであります。

負債の部は3,002百万円となり、前事業年度末と比べ245百万円減少しました。これは主に、その他の流動負債が214百万円、賞与引当金が114百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は18,431百万円となり、前事業年度末と比べ236百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が177百万円、利益剰余金が59百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,148	5,430
売掛金	2,027	2,065
商品及び製品	381	503
仕掛品	26	29
原材料及び貯蔵品	264	266
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	113	86
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	14,454	13,872
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,776	1,835
機械及び装置（純額）	1,363	1,704
その他（純額）	1,506	1,435
有形固定資産合計	4,646	4,976
無形固定資産	32	28
投資その他の資産		
投資有価証券	2,006	2,259
その他	303	296
投資その他の資産合計	2,309	2,556
固定資産合計	6,988	7,561
資産合計	21,443	21,434

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,360	1,398
未払法人税等	85	59
賞与引当金	183	69
役員賞与引当金	15	1
その他	835	620
流動負債合計	2,480	2,148
固定負債		
繰延税金負債	87	157
退職給付引当金	648	662
役員退職慰労引当金	32	32
固定負債合計	767	853
負債合計	3,248	3,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	18,652	18,712
自己株式	△3,456	△3,456
株主資本合計	17,517	17,576
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	677	854
評価・換算差額等合計	677	854
純資産合計	18,195	18,431
負債純資産合計	21,443	21,434

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,044	5,288
売上原価	4,504	4,762
売上総利益	539	526
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	74	86
賞与引当金繰入額	8	10
役員賞与引当金繰入額	6	1
退職給付費用	8	9
役員退職慰労引当金繰入額	1	0
貸倒引当金繰入額	1	0
その他	164	171
販売費及び一般管理費合計	265	279
営業利益	274	247
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	31	30
雑収入	10	9
営業外収益合計	46	46
営業外費用		
賃貸費用	1	1
雑支出	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	318	291
特別損失		
固定資産除売却損	2	6
固定資産撤去費用	—	0
特別損失合計	2	7
税引前四半期純利益	316	283
法人税、住民税及び事業税	57	50
法人税等調整額	24	34
法人税等合計	81	85
四半期純利益	235	198

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計(注)2
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	946	1,135	831	1,677	4,591	452	5,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	946	1,135	831	1,677	4,591	452	5,044
セグメント利益	94	19	86	65	266	7	274

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計(注)2
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,070	1,121	769	1,877	4,838	449	5,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,070	1,121	769	1,877	4,838	449	5,288
セグメント利益又は損失(△)	143	18	103	△29	237	9	247

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。